

ITSスポットの全国展開

高度情報化研究センター

高度道路交通システム研究室

室長 金澤 文彦

主任研究官 澤 純平

研究官 鈴木 彰一



(キーワード) 高度道路交通システム (ITS)、ITSスポットサービス

1. これまでの経緯

国土技術政策総合研究所では、VICS、ETCなどこれまで個別提供されていたサービスに加え、多様なサービスを一つの車載器で利用できる車内環境の実現に向け、2005年より官民共同研究をはじめとする研究開発を行ってきた。2007年度の高速度道路上での実証実験、2008年度の省庁連携による大規模実証実験を経て、2010年1月にそれまでの成果を踏まえ、路側無線装置、センター装置群、装置間インターフェース等について「スポット通信サービスに係る仕様書(案)」の策定を行った。

2. ITSスポットの整備

国土交通省では、関連仕様の策定を受け、2010年度に全国の高速道路上を中心に約1,600箇所で路側機 (ITSスポット) の整備を段階的に行っている。また、これに先立ち民間メーカから、ITSスポットにより提供されるサービスを利用できるITSスポット対応カーナビが2009年秋から市販開始されている。

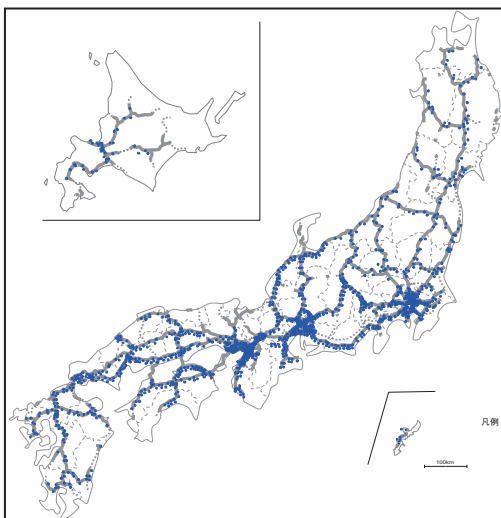


図1 ITSスポット設置予定位置

3. ITSスポットサービス

2011年1～3月より、全国で以下の基本サービス及び一部の機種で利用可能なインターネット接続サービスの提供が開始される。また、プローブ情報の収集も開始される。

(1) ダイナミックルートガイダンス

新たな高速・大容量の路車間通信により、県境を越える広域の道路交通情報(道路延長で最大約1,000km)が、リアルタイムに配信され、最適のルートカーナビ・システムが選択することが可能となるサービス。

(2) 安全運転支援

通常時は道路交通情報を提供するITSスポットで、緊急時に安全運転支援情報を提供するサービス。道路上の落下物情報の配信や、カーブ先やトンネル先の見えないところで急に渋滞に出くわす交通事故多発地点等での渋滞情報の配信をITSスポットで行い、安全運転支援の注意喚起等を実施。



図2 安全運転支援一例

4. 今後の課題

今後、ITSスポットを活用するサービスの開発・展開を、官民協働で進めていくことが期待される。

【参考・関連するHPのURL】

http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_src/index.html